

平成 20 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社トーブラ  
代 表 者 代表取締役社長 峰岸 甫  
(コード番号 5 9 5 4 大証第二部)  
問 合 せ 先 管理本部管理部長 武藤 高志  
電 話 0 4 6 3 - 8 2 - 2 7 1 1

### 業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想につきまして、平成 19 年 5 月 18 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。また、特別損失が発生いたしましたので併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	31,300	870	290
今 回 修 正 予 想 (B)	33,759	1,383	563
増 減 額 (B) - (A)	2,459	513	273
増 減 率 (%)	7.9	59.0	94.1
前 期 実 績(平成 19 年 3 月期)	29,361	541	71

#### 2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	27,500	700	220
今 回 修 正 予 想 (B)	29,717	1,125	212
増 減 額 (B) - (A)	2,217	425	8
増 減 率 (%)	8.1	60.7	3.6
前 期 実 績(平成 19 年 3 月期)	25,853	511	101

#### 3. 修正理由

連結業績につきましては、売上高は製品構成の変動、受注量の増加等により当初予想を上回る見通しです。利益面でも経常利益は売上高の増加及び合理化改善効果により、当初予想を上回る見通しであり、当期純利益についても特別損失にクレーム補償費 639 百万円、不動製品除却損 93 百万円等を計上いたしましたが、当初予想を上回る見通しであります。

個別業績につきましても、売上高は製品構成の変動、受注量の増加等により当初予想を上回る見通しであり、利益面でも売上高の増加及び合理化改善効果により、経常利益は当初予想を上回る見通しですが、特別損失にクレーム補償費 639 百万円、不動製品除却損 88 百万円等を計上し、当期純利益は当初予想を下回る見通しであります。

#### 4. 特別損失の発生とその理由

##### (1) 連結

当連結会計年度において、製品構成の変動、受注量の増加に伴い発生した納期遅延に対するクレーム補償費 639 百万円、不動製品除却損 93 百万円を計上する見込みであります。

##### (2) 個別

当事業年度において、製品構成の変動、受注量の増加に伴い発生した納期遅延に対するクレーム補償費 639 百万円、不動製品除却損 88 百万円を計上する見込みであります。

以上